

令和4年度 飛驒市美術館 企画展関連イベント  
茂住菁邨書展 講演会

# 「令和」揮毫の裏側、 書の楽しみ方

書家として活躍する一方、内閣府の辞令専門職として、国事に関わる書の揮毫に携わられてきた茂住菁邨氏。新元号「令和」の揮毫は氏の書が全国に知れ渡る転換点ともなった。その舞台裏ではどのようなことが起きていたのか。  
また、“書”の楽しみ方についてご講演いただきます。

日 時 令和4年 7月17日(日) ・参加無料  
・申込不要  
(先着順)  
13:00 開演 (12:30 開場) ~14:30  
※<変更> 大ホール (定員700席)  
会 場 飛驒市文化交流センター 小ホール (定員100席)  
(飛驒市古川町若宮2丁目1-63)

◇当日、図録をお求めいただいた方は、ご希望で直筆サインをいただけます◇

## ～茂住菁邨プロフィール～



日展会友、読売書法会理事・審査員、謙慎書道会常任理事、大正大学客員教授。本名は修身(おさみ)、飛驒市古川町生まれ。  
県立斐太高等学校卒業後、大東文化大学へ進学。大学時代に青山杉雨(文化勲章受賞)に師事。昭和55年(1980)より総理(現在の内閣府)に入府。平成17年(2005)より内閣府大臣官房人事課辞令専門官となり、長らく国民栄誉賞の賞状や総理大臣表彰、国務大臣の辞令の揮毫を担当する。雅号は菁邨。令和3年4月から書家としての創作活動を本格化し「茂住菁邨書展一言霊の響き」をフランスパリ、東京銀座、高山市、飛驒市にて開催。

お問い合わせ 飛驒市教育委員会事務局 文化振興課  
TEL 0577-73-7496  
FAX 0577-73-7497